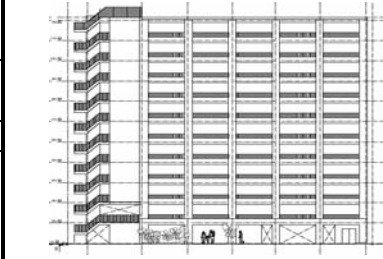




■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.7

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	リビオレゾン横浜鶴見ステーションサイト	階数	地上11F
建設地	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4丁目9番9、10、13、14	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	190 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2021年02月15日
敷地面積	982 m <sup>2</sup>	作成者	李 孝哲
建築面積	807 m <sup>2</sup>	確認日	2021年02月22日
延床面積	7,577 m <sup>2</sup>	確認者	猪狩 甲隆



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 1.7

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	住居・宿泊部分: 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。2.0%≦[屋光率]。カーテンと庇を組み合わせることで glare を制御します。	Q2 サービス性能 LD、洋室: 床フローリング (30年)、壁ビニルクロス (20年)、天井ビニルクロス (30年)
LR1 エネルギー	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR2 資源・マテリアル	LGS使用している。 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して91%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい



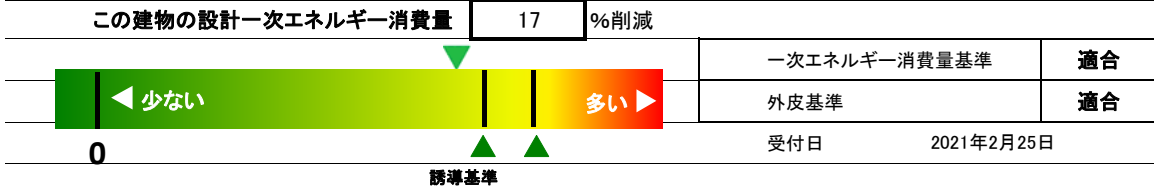
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **リビオレゾン横浜鶴見ステーションサイト**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **4**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①断熱性能等級4

③BEI=0.83

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **3**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **1**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
リビオレゾン横浜鶴見ステーションサイト

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>2.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>										<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1.2 遮音				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50			-
1		開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			-
2		界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30			-
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			-
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				-	-	-	-			-
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.0</b>	0.35	<b>2.7</b>	1.00			<b>2.5</b>
2.1 室温制御				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.3</b>	0.50			-
1		室温	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.63	3.0	0.63			-
2		外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.38	4.0	0.38			-
3		ゾーン別制御性	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	-	-	-	-			-
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			-
2.3 空調方式				<b>1.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			-
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.3</b>	0.25	<b>3.4</b>	1.00			<b>3.1</b>
3.1 昼光利用				<b>1.8</b>	0.30	<b>3.4</b>	0.30			-
1		昼光率	快適・働きやすさ ⑩光環境	1.0	0.60	5.0	0.50			-
2		方位別開口	快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	1.0	0.30			-
3		昼光利用設備	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20			-
3.2 グレア対策				<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30			-
1		昼光制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	2.0	1.00	4.0	1.00			-
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15			-
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25			-
<b>4 空気環境</b>				<b>3.6</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.8</b>
4.1 発生源対策				<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63			-
1		化学汚染物質	快適・働きやすさ ⑪空気環境	4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.6</b>	0.38			-
1		換気量	快適・働きやすさ ⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
2		自然換気性能	快適・働きやすさ ⑪空気環境	-	-	5.0	0.33			-
3		取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ ⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.3 運用管理				-	-	-	-			-
1		CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ ⑪空気環境	-	-	-	-			-
2		喫煙の制御	快適・働きやすさ ⑪空気環境	-	-	-	-			-
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-			<b>2.6</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.2</b>	0.40	<b>2.6</b>	1.00			<b>2.5</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60			-
1		広さ・収納性	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	-	-			-
2		高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	3.0	1.00			-
3		バリアフリー計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性				<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40			-
1		広さ感・景観	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	3.0	0.50			-
2		リフレッシュスペース	快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	-	-			-
3		内装計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50			-
1.3 維持管理				<b>2.5</b>	0.30	-	-			-
1		維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ ⑫機能性	2.0	0.50	-	-			-
2		維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.8</b>	0.30	-	-			<b>2.8</b>
2.1 耐震・免震				<b>3.0</b>	0.50	-	-			-
1		耐震性	防災 ⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2		免震・制振性能	防災 ⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>2.9</b>	0.30	-	-			-
1		躯体材料の耐用年数	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.10	-	-			-
4		空調換気ダクトの更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5		空調・給排水配管の更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
6		主要設備機器の更新必要間隔	防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				<b>2.4</b>	0.20	-	-			-
1		空調・換気設備	防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2		給排水・衛生設備	防災 ⑰信頼性	1.0	0.20	-	-			-
3		電気設備	防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4		機械・配管支持方法	防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5		通信・情報設備	防災 ⑰信頼性	2.0	0.20	-	-			-
<b>3 対応性・更新性</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>2.5</b>	1.00			<b>2.6</b>
3.1 空間のゆとり				-	-	<b>2.0</b>	0.50			-
1		階高のゆとり		-	-	2.0	0.60			-
2		空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				-	-	<b>3.0</b>	0.50			-
3.3 設備の更新性				<b>3.0</b>	1.00	-	-			-
1		空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
2		給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
3		電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
4		通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
5		設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-			-
6		バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
リビオレゾン横浜鶴見ステーションサイト

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-	2.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		1.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	3.5
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		5.0	0.50	-	-	5.0
<b>4 効率的運用</b>				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-	2.9
<b>1 水資源保護</b>				2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水				1.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	1.00	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				-	-	-	-	-
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>				3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				5.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-	-
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				5.0	0.50	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	3.1
<b>1 地球温暖化への配慮</b>				3.3	0.33	-	-	3.3
<b>2 地域環境への配慮</b>				3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
<b>3 周辺環境への配慮</b>				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-
2 振動				-	-	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-

上記以外の重点項目							
<b>&lt;事務用途&gt;</b>				-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>				-	-	-	-
<b>健康と安心</b>				-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		1.0	-	-	-